

## 柔道

目下、世界柔道界の関心事は、「ソウル五輪で女子柔道が正式種目として認められるかどうか」ということです。I O C (国際オリンピック委員会) ではかなり具体的に検討していますが、最終的なイエスの解答は、まだです。

それでも女子柔道が、ここまでこぎつけることができたのは、本誌第5号の「終りなき挑戦」でご紹介したように、女子柔道の認知に走り回るラステイ・カノコギさん(米国女子柔道チームコーチ)のような女性がいるからです。昨年のロサンゼルス五輪の会期中に「女子柔道を五輪正式種目に認めないのは、女性差別である」として、ロサンゼルス市内で記者会見をしました。

その次に彼女たちが打った手は、国連や国際法廷に「女性を差別している」I O C を訴えることです。これに関連して世界中の女子選手のアンケートと署名を、集め始めました。昨年10月、W S F・Japan事務局も、早速、60部ばかりコピーをして各地の指導者に配布しましたが、3月末に戻ってきたのは28通。そのうち、署名と日付がきちんとあるのはわずか13。それでも「ソウル五輪で女子柔道が認められたら、出たい」(27人)というのですから、ムシがイといましようか。さらに情ないのは、多くの指導者が「そんなものやることない」と非協力的だったことです。

## Forum

## ウェア

「女性スポーツブーム」といわれて数年たちますが、当初は一つのファッションとしてとらえられる傾向が強かったようです。それがようやく、本来の意味で考えられるようになってきました。

その一つが、女性スポーツウェアの傾向にも見られます。デザインにポイントを置いたものから、機能性を重視する方向に変わってきたようです。

スポーツシューズで有名なアシックス(本社：大阪)では、先ごろ、女性用ブラジャーとショーツを、アシックス・スポーツアンダーギアの名で発売しました。

同じモがはずれたり、アンダーバストがずり上がるといったことは、スポーツをする女性ならよく経験すること。そんな激しい動きにも耐えられるよう、競技別に動作を分析し3種のブラジャーが用意されました。テニス、スキーなど、ねじれスポーツに対応できる「Xタイプ」、バレーボール、バスケットボールなど、伸び上がりスポーツ用の「Uタイプ」、それにジョギングなどの、振動スポーツ用の「Wタイプ」。

色は清潔感あふれる白から、ちょっぴりセクシーなエメラルドグリーンまで5色。値段は二千八百円〜三千六百円。ショーツは2色ストライプなどもあって九百円〜千四百円。パーゲン品しか買ったことのない人には少々お高目？



株式会社アシックス

A・イエガーは  
ローンシップ

asics

Tennis Wear & Shoes

Lawnship